

福井新聞

煮雑の里古 交流比べ味

勝山・四葉のクローバー会 県外出身者ら30人

結婚などで勝山市に引越してきた県外出身者らでつくる「四葉のクローバー会」は7日夜、同市の奥

ふるさとワイド便

北から南から



全国5道府県の雑煮を作って食べ比べした「四葉のクローバー会」と勝山市長との語る会。7日夜、勝山市の奥越地域地場産業振興センター



市長招き意見交換会も

越地域地場産業振興センター内「じ・ば・さ・ろ・ん」で勝山市長と語る会を開いた。

会員親子ら約30人が参加。出身地の北海道や京都、兵庫など5道府県の雑煮を作って食べ比べし、勝山での生活が楽しくなるための方策を話し合った。同会は勝山に住む人の

と企画。山岸市長を招いた。北海道の雑煮は身をほぐしたババガレイにゴボウ、高野豆腐、干しシイタケ、ニンジン、タケノコなど具だくさん。鶏がらスープにしょうゆで味付けした青森県版、塩が入ったしよっぱい小豆汁の鳥取県版など、会員らは順番に味わい、雑煮の全国制覇を楽しんだ。この後、山岸市長と意見交換し、「冬は公園が雪捨て場になり子どもたちが遊ぶ場が少ない」「勝山でお産ができる環境を取り戻したい」「勝山をもっとアピールできる道の駅があったら」などと発言。参加者は悩みを打ち明けたり、魅力あふれる勝山を全国発信するための提案をしていた。